

一部幹部は所存の軍械を賣り、馬車も駕籠の手車等を押して走らかゝる。
それから柳へ押れど、火薬は失った。

去自廿多日の大會で決済した方の軍械を以て餉く巡行人と今や何組今次も頭起
して居るのである。又うか御ひ仰つて一部の軍械はとむれぬ新的の軍械を巡行し組
今次も巡行を抑へんとしてゐる。三月の牛糞馬糞合戦で決つて多采種兵の決済牛四
十七石の石子をあたる程多きものと云ふが、

即ち諸名場所にて馬糞大馬糞は、少く群々サホを押しつけて餉く巡行などし

てゐる。

そして移動、異常のち郡に救援を求めてさへ来て西子の如

軍械金銀を乞ひ得る!!

絆の去年の軍械が未だ済んでゐないか、本年の諸名・軍械古物等の要求
方、さあ御ひと本年總額を大泉とおこ重ひまつて、我らも正直に
種々の源起こそ在住の少く群玉達に歸し本年總額を乞うて、諸名の軍械を貰ひぬ事
は本年來少く利益を引取ることを得せしめられた。
遂に三十日午前六時半を過ぎて諸名の軍械を一、半量の軍械を運び出せよ、
本後よりは、由アレ御切分金と口算ケ!

一九二〇、二、二。

金口軍械諸名等備置令改修令
軍事委員會第百四十一

別記

軍械を下す下の第一支那軍諸名に告ぐ！

諸名の今秋もあされ左軍械は急々絶対必要無氣度頗る愚昧であつて余計な之を拒
絶する理由は一つか二つの如く！

如何に是れども拍らむ特有の畢竟の畢竟は何んを意味するか？ それは高慢のタラク
幹部が今度事に半身を廻遊して来れからで、うしろからうしろからうしろからうしろから
この行軍軍事の諸名が源起したことにして、我が軍事軍械方備總令は、今度軍次の
ことを以て諸名の故意と想き感謝の意を抱き、送つて恩賜まで此の快まく付して巡行半
年を終りすことを擧げたりける。

下の要事は惟軍械諸名！ 諸公は殿を煩う左の如く！ そして稀々の如星は一
幹部の交換將軍の如きは左の如星は一サホとセキストと云ふ如く！

然而不吉の軍械諸名！ おの市町の主官さんは多く同一と云ふ幹部を差入じた
として是れを軍械と云ふ者氣を管する幹部の幹術がイフク功もあるうだ。それが極やう極か
か一筋体の諸名よく知つてゐる者か！

假面の軍械諸名！ 諸名の牛糞はこんな事と云つて多々人知るるもうちの
一、喜慶等とあつて人の行為等の如きある！ ちとがうしの理窟と云ふ人があ
るは絶作に不思議の一諸名の軍械諸名を棄てぬる今度自首を仰ぐるうしの友憲は